

## 「青森県基本計画未来を変える挑戦」 アウトルックレポート 2015（概要）

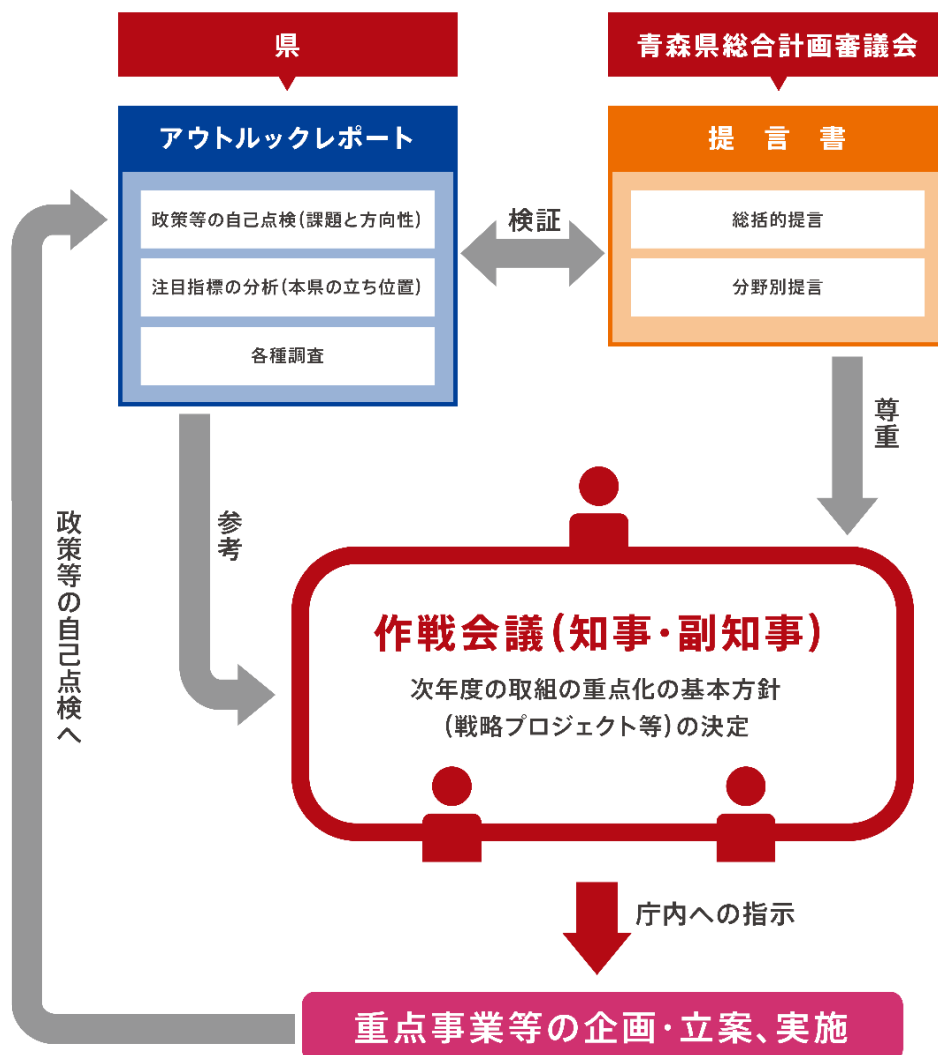
県では、「青森県基本計画未来を変える挑戦」（以下「計画」という。）を着実に推進するため、マネジメントサイクルの一環として外部知見を活用しながら自己点検等を行い、その結果をアウトルックレポート 2015 にまとめました。

### ■アウトルックレポートの趣旨

計画では、「取組の重点化」によりその着実な推進を図り、めざす姿の実現に向けて、青森県総合計画審議会による検証も実施しながら、計画に掲げた政策・施策レベルの点検を行い、その結果を限られた行財政資源の配分と効果的・戦略的な取組の企画・立案や実効性の高い事業実施につなげるためのマネジメントサイクルを展開することとしています。

アウトルックレポートは、マネジメントサイクルの一環として実施している政策・施策レベルの自己点検の結果や注目指標の分析結果などにより、本県の立ち位置を様々な角度から多面的に捉え、今後、本県が進むべき方向性について取りまとめ、公表するために作成するものです。

（マネジメントサイクル概要図）



## ■レポート概要

計画に掲げた4分野における63施策について、平成26年度の取組内容と、指標による検証、施策の現状と課題を整理するとともに、これを踏まえた今後の取組の方向性を記載しています。

<今後の主な取組の方向性>

### I 産業・雇用分野

- 県産農林水産物等のブランド化の推進、高齢化や市場ニーズに対応した生産振興、県産品の輸出先ニーズに対応できる人財育成、地域の6次産業化の推進
- ライフ分野の製品開発促進や付加価値向上、ヘルスケアサービスモデルの構築・普及
- 環境・エネルギー分野の産業創出・振興、原子力関連業務への県内企業の参入促進
- ターゲットに応じた戦略的情報発信、北海道との広域連携によるプロモーション、観光客受入態勢の整備、移住希望者向け情報発信
- 知的財産活用の支援、工業系ものづくり企業の海外販路拡大の支援、戦略的企業誘致
- 若年者や中高年者の雇用対策、障害者雇用の創出、幹線道路ネットワークの整備

### III 環境分野

- 白神山地の保全と利活用の推進、低コスト間伐の推進、公共用水域の水質改善対策の検討、環境公共の推進と県民理解の向上
- ごみ減量やリサイクルなど3Rの取組推進、エコドライブの推進など県民全体の環境配慮行動の促進、住宅用太陽光発電の導入促進、不法投棄事案の再発防止
- 「環境教育専門員」の育成と「環境出前講座」の持続可能な体制構築、親子向け環境学習・実践プログラムの活用促進、「あおもりエコの環スマイルプロジェクト」の推進、企業による森林づくり活動の促進

### II 安全・安心、健康分野

- ヘルスリテラシー（健やか力）の向上、保健師活動の活性化、自殺予防対策の推進
- がん検診の普及啓発、がん登録の精度向上、がん医療の充実、在宅緩和ケアの体制構築
- 医師・看護師等の確保・定着、在宅医療の提供体制の整備、救急医療の充実強化
- 高齢者の見守り体制や相談体制充実、障害者の就労支援、難病患者と家族の相談体制充実
- 結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくりと気運醸成、児童虐待防止に向けた体制強化
- 緊急時の対応能力の向上、原子力災害時の避難方法等の周知徹底
- 防災公共の更なる推進、災害時の物流確保、自主防災組織の結成促進と県民意識の向上
- 防犯に向けた規範意識向上、高齢者等交通事故防止、配偶者暴力防止、特殊詐欺被害防止、持続可能な地域交通の実現に向けた取組

### IV 教育、人づくり分野

- グローバル人財の育成、障害のある幼児児童生徒への支援の充実、医師を目指す高校生の養成、高校生の就職支援、キャリア教育の推進、児童生徒の運動量増加・体力の向上、食育の推進
- 産学官金の連携による人財育成の仕組みづくり、女性が活躍できる環境整備、農山漁村の「地域経営」を担う経営体の育成、県立学校における多彩な公開講座の開催、生涯学習の推進、NPO法人の自立的活動を促す体制づくりの支援
- 関係自治体と連携した縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組推進、芸術文化を担う子どもたちの育成、総合型地域スポーツクラブの設立支援、アスリートネットワーク活用などによる健康づくり推進、スポーツ科学に基づいた選手強化

## ■注目指標の分析と「県内総時間」～立ち位置の確認と伸びしろの獲得に向けて～

### 1 1人当たり県民所得

平成 24 年度確報値 2,422 千円【前年度より 2.9%増加】

1人当たり県民所得の水準 87.9（1人当たり国民所得＝100）

【前年度比プラス 1.8 ポイント】

※青森県「平成 24 年度青森県県民経済計算」により確認

- 本県の 1 人当たり県民所得（平成 24 年度確報値）は、前年度から 2.9%増加しました。
- 1 人当たり国民所得を 100 とした場合の本県の水準は、比較可能な平成 13 年度以降で最高水準となりました。

### 2 平均寿命

平成 22 年 男性 77.28 年【全国 79.59 年】

女性 85.34 年【全国 86.35 年】

※厚生労働省「平成 22 年都道府県別生命表」により確認

- 本県の平均寿命は、着実に延びているものの、男性は昭和 50 年から、女性は平成 12 年から、全国順位が最下位となっています。
- 本県の主な死因別の死亡率（平成 25 年）をみると、悪性新生物による死亡率は男女とも昨年よりも増加したものの、心疾患及び脳血管疾患の死亡率は減少に転じています。また、自殺による死亡率は男女とも減少し、女性では全国と同水準となりました。

### 3 県内総時間

一人当たり県民所得と平均寿命の 2 つの注目指標により、本県の立ち位置を確認するだけでなく、これからの伸びしろを獲得する視点から、県を挙げた総合的な取組のシンボルとして「県内総時間」を伸ばすことを掲げています。このため、今後は、注目指標の分析に加え、「県内総時間」の延伸についても確認していきます。

**県内総時間 = 県民総時間 + 県外移入時間**